



臨床研修センターだより



Vol.36 2017.2.28

●平成 28 年度基本的臨床能力評価試験

臨床研修について客観的な評価をうけることを目的として、NPO 法人日本医療教育プログラム推進機構が実施している「基本的臨床能力評価試験」。毎年、好成績を残しており、昨年度は全国 319 病院中 3 位にランクされました。今年度も初期研修医 2 年次 14 名、初期研修医 1 年次 18 名が 1 月 30 日～2 月 3 日の間に受験しました。試験時間は 3 時間。終わった後の感想として、「長かった」「疲れた」という率直な感想もあれば「忘れてしまっている部分もあって、自分の弱点がわかった。課題が見つかった」という先生もおられました。皆様、お疲れ様でした。



●感染症ミニレクチャー

現在、総合内科をローテしている、1 年次の岡山 Dr.、三宅川 Dr.、山田 Dr. の 3 人。臨床研修センタースタッフ 進藤 Dr. より、感染症ミニレクチャーを受けています。

日常診療でほぼ毎日のように使用する抗菌薬ですが、投与経路や用量、適応についてシンプルで分かりやすく教えていただき勉強になりました。日々の些細な疑問も一つ一つ丁寧に御指導いただき、ありがとうございました。

(岡山 裕介)

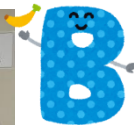


●初期研修医懇談会

2 月 3 日、初期研修医懇談会が開催されました。3 つのブースをつくり、ブースごとにテーマを設け、討論しました。A ブースには、坂田院長、橋田院長補佐、庶務課長。B ブースには、幸原副院長、西岡臨床研修センター長、吉本臨床研修副センター長。C ブースには、細谷院長代行、花田事務局長、庶務課主幹が出席されました。研修医は 3 グループに分かれ、それぞれのブースを 1 周した後、ブースごとに総括をして頂きました。研修医の生の声を聞き、「貴重な意見が聞けた」とおっしゃっていました。また、初期研修医の意見も前向きなものが多く、今後の研修システムがより良い方向に進むきっかけとなれば幸いです。



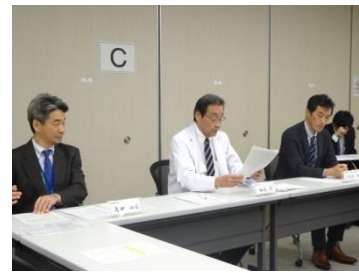
テーマ…当院の研修について



テーマ…研修プログラムについて



テーマ…当院の経営改善について



臨床研修プログラムや研修生活について、2年間で感じたことや良かった点、改善点についてディスカッションすることができました。同じプログラムでも研修医によって意見が異なり、集まった意見を反映して頂いて、今後より良いプログラムに改善されることを期待します。また、病院の経営に関わるお話は詳しく聞いたことがなかったので、いい機会になりました。(2年次 伊藤 純子)

序盤は大変緊張しましたが、堅苦しくない雰囲気を作って頂いたおかげで自分の思う所を率直に述べられたように思います。研修内容やシステム等、普段は考えない内容について改めて考え、意見を述べる場を設けて頂いた事はとても有意義だったと感じました。

(2年次 佐渡 康介)

懇談会に参加させていただくのは去年に続き2回目でしたが、今年は去年とは異なり、それぞれのテーマについて研修医が1人ずつ意見を発表していくといったものでした。普段直接お話をすることのない上層部の方々の前で発言するのは緊張しましたが、臨床研修の目標や臨む姿勢を改めて見つめ直すいい機会となりました。今後もこういった活発な意見交換を行うことでよりよい研修システムが実現すればと思います。ありがとうございました。

(2年次 嶋田 博樹)

私自身は現在の研修生活にとっても満足しており、あと残り1年程の研修に関しても現状で十分充実したものになるであろうと考えているため建設的な意見は出せなかった。しかし、幹部の方々に研修医の考えている事、思いを聞いて頂いた事には感謝している。懇談会を終えた他の研修医も皆満足気な顔をしていた。

(1年次 米ヶ田 真之介)

当院の研修をよりよいものにするために普段なかなか言う機会のない本音を伝えられる会でした。他の研修医の意見も聞けて有意義な時間でした。今後こういった形で取り入れられるのか楽しみです。

(1年次 山田 あゆ)

研修生活、もっとこうして欲しいという希望は少なからずあり、そういった不満を顔を合わせて提示し合える場を設けて下さりありがとうございました。これを機に当院の研修環境がより良くなり、今まで以上に研修に集中できるようになると思いました。また、コスト等、あまり自分が考慮しない部分についても学ぶ良い機会となりました。今後もこういう場があればと思います。

(1年次 横出 晃能)

